

一般質問通告表

令和元年第4回始良市議会定例会（11月28日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8. 堂森 忠夫	<p>1. 吉田焼却場等の解体処分について</p> <p>2. 宇都トンネル工事等の検証について</p>	<p>(1) 吉田焼却場は、旧町の一部事務組合で運用され、長年の期間、解体事業が手付かずの状態だったが、やっと解体の運びへ前進し、市民に安心感を与えることが出来た。しかし、市民目線から判断すると組合は、旧吉田町も利用していたが解体処分の負担割合等において、鹿児島市との関係はどのようなになっているのか問う。</p> <p>(2) 吉田焼却場の解体工事を施すことにより、鉄・アルミ・ステンレス・銅など多くの再資源物がリサイクルセンターで処理されると察するが、どれくらいの数量がでるのか。また、リサイクル単価はどれ位かを問う。</p> <p>(3) 過去の本会議において、解体工事が出る地金の金額を追及したときは、地金は環境汚染等により価値がないような答弁だったが、製鉄所に運ばれる地金等はリサイクル製品として価値があると察するが、その価値を始良市の活性化に活かす事業運営を図れないか問う。</p> <p>(4) 始良市は今後、本庁舎など多くの施設が解体処分されるが、解体から出るリサイクル商品の価値を活かすために、工事関連の契約や条例等を見直し、工事の検証等を明確化し、工事リサイクル商品の利益を市の活性化に活かすなど検討できないか問う。</p> <p>(1) 現在の工事管理では、工事が契約内容に沿って完了し、完成検査終了後の定期的な検証は、どのようなシステムになっているのか問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 「あいぽーと」事業の活用について	<p>(2) トンネル工事施行において、鉄製品の架台がトンネルの両方の入口に設置されていたが、数か月間使用された後は撤去されていた。この鉄の塊である架台を検証したいが、現在どのような状態かを問う。</p> <p>(1) 「あいぽーと」がイオンタウン店舗内にオープンしたが、利用状況はどのような状態か。また、職員の勤務体制などのシステムは、本庁とどのような違いがあるのか問う。</p> <p>(2) 「あいぽーと」は市民の身近な事業として、イオン店舗内に設置され好感度を受けるが、さらに市民が買い物などで困ったときに、即、対応が可能な消費生活センターの相談窓口コーナーを「あいぽーと」内に設置を図れないか問う。</p>	市 長
9. 萩原 哲郎	1. 鹿児島マラソン市民枠について	<p>鹿児島マラソンは平成28年から開催され、令和2年3月1日で4回目を迎える。県内最大規模のスポーツイベントとして定着しつつある。フルマラソン参加者は1万人だが、鹿児島市民枠2,500人、県外・海外枠250人、ふるさと納税枠250人があり、一般参加枠は7千人と減っている。始良市民のマラソン参加も難しくなっており、地元応援の方々の不満も大きい。</p> <p>折り返し地点が重富地区にあり、多くの市民がボランティアスタッフとして参加しており、大会の運営に始良市も大きな関わりを持っている。</p> <p>始良市は協力市として市民枠をもらえる権利があると思うが、以下について問う。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 烏帽子岳登山道整備について</p> <p>3. 重富公園駐車場について</p>	<p>(1) ボランティアスタッフとして参加している、市職員、市観光協会、市商工会、校区コミュニティ協議会、医者、マッサージ協会などの参加人数を団体ごとに示せ。</p> <p>(2) 本市は本年、実行委員会にオブザーバーとして参加し、始良市民卒の確保について要望した結果はどうなったのか。</p> <p>(3) 本市は鹿児島市と、「錦江湾奥会議」「かごしま連携中枢都市圏」等の連携をとっており、始良市民卒の確保にも協力いただけると思うがどのように考えるか。また、来年本市は、10周年記念を迎えることをきっかけに市民卒の相談をしてみてもどうか。</p> <p>市内最高峰を誇る烏帽子岳（703メートル）は、絶景ポイントである。360度にわたり遠景を見渡せる山頂付近が、立木や生い茂る雑草で視界が遮られていたが、周辺の伐採と草刈りが行われ、木製のベンチ2台設置され、360度の景観が見渡せられ、気持ちの良い山頂に様変わりしていた。</p> <p>また、山頂付近の難所（急勾配の坂）も丸太階段が設置してあり登りやすくなっていた。</p> <p>今後の整備計画を問う。</p> <p>山之口自治会中心に15自治会約160人の高齢者が集まり、重富公園でグラウンド大会を2か月に1回行っているが、近年参加者も多くなり駐車場も足りない状態である。各自治会に乗り合わせ出来て頂いているがそれでも足りなく、路上駐車もあり危険状態である。</p> <p>以前、池を埋め立てた時に埋め戻しら</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>れていない市有地がある。駐車場の片隅にあり現在、ごみ等の捨て場になっており、衛生的にも悪い。駐車場以外に使い道がない市有地であり、今後、調査・検討していくとの事であったが、駐車場の片隅にある場所を埋戻しし、駐車場として利活用できないか。</p>	
10. 竹下 日出志	<p>1. 子育て支援・児童虐待予防対策について</p> <p>2. 自動車改造費の助成について</p>	<p>神奈川県茅ヶ崎市では、2010年度から子育て支援および児童虐待予防を図るため、「そだれん（怒鳴らない子育て練習講座）」を実施し、現在では、子育ての「イライラ、自己嫌悪、悩み」を減らすことを目的に「ほしつ・メゾット」として、みんなでしつけの練習をする講座が行われている。「ほしつ」は「ほめる」「しかる」「つたえる」の頭文字をとった言葉である。</p> <p>子どもへの「しつけ」と称した体罰が虐待につながっていることから、児童虐待予防を図るため、本市でも「ほしつ・メゾット」講座を実施する考えはないか。</p> <p>曾於市の身体障害者用自動車改造助成事業は、重度身体障害者等が自立した生活、社会活動への参加及び就労に伴い、自ら運転することのできない重度身体障害者若しくは生計を同一にするものが改造された自動車を購入する場合において、改造に要する経費を助成することにより、重度身体障害者等の社会復帰の促進を図り、もって福祉の増進に資することを目的とするとなっている。</p> <p>本市でも、重度身体障害者の介護者運転の場合、自動車改造費助成事業の対象者とすることにできないか。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 視覚障害のある人へのハザードマップについて	<p>去年の西日本豪雨で大きな被害を受けた広島県呉市で、視覚障害のある人たちが、土砂災害の危険がある地域を示したハザードマップの内容を理解する勉強会が開かれた。参加者は、ボランティアの人たちが説明した音声を聞いて自宅周辺の安全性を確かめた。</p> <p>本市でも、視覚障害のある人へのハザードマップの勉強会を実施する考えはないか。</p>	市 長 教育長
11. 新福 愛子	1. 肺がん検診の受診率向上について	<p>日本では、がんに罹患する人は年々増加傾向にあり、2018年3月に閣議決定された「第3期がん対策推進基本計画」においては、生涯のうちに約2人に1人が罹患すると推計されており、国のがん対策の全体目標として、「がん予防」「がん医療の充実」及び「がんとの共生」の3つの柱が掲げられた。</p> <p>がんの中でも死亡者数・死亡率の一番多い部位は男性1位・女性2位の「肺」である。また2016年8月には国立がん研究センターが、受動喫煙により肺がんリスクが1.3倍に増えるとの報告を発表し、来年の東京オリンピックを見据え2018年7月に受動喫煙防止法が成立した。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 本市の肺がん検診の目標(受診率・受診者数)と現状</p> <p>(2) がん検診受診率向上のための取組</p> <p>(3) 特定健診受診率との比較</p> <p>(4) 国が推奨する特定健診とがん検診の同時受診の検討</p> <p>(5) 厚生労働省発行の「受診率向上施策ハンドブック」では特定健診とがん検診を同時に受けられる仕組みとして「オプトアウト」を導入することも紹</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 未婚のひとり親の支援給付金について</p>	<p>介されている。本市でも「オプトアウト」を研究し導入できないか。</p> <p>(6) 検診受診率向上をめざし、人の行動や行動経済学の知見を生かす「ナッジ」と言われる手法が注目を集めている。本市での取組を問う。</p> <p>経済的に厳しい状況に置かれがちな未婚のひとり親を支援する給付金が、来年1月にも支給される。支給額は一律1万7,500円で、ひとり親などを支援する児童扶養手当に上乘せされることになり今年度の臨時・特別措置として国が実施を決めた。</p> <p>対象は、来年1月に支給される11月分で同手当受給者のうち、10月時点で、婚姻をしたことがない方及び事実婚をしていない方、または事実婚の相手の生死が明らかでない方という条件の全てを満たす人となっており、厚生労働省によると約9万8千人が当てはまる見込みという。そこで本市での対応について問う。</p> <p>(1) 給付金を受け取るための申請の流れと準備の状況</p> <p>(2) 対象者の掌握と情報提供と確実な給付に向けた留意点</p> <p>(3) 今年度の臨時措置に対する見解</p>	<p>市 長 教育長</p>
	<p>3. 始良市農林業労働者災害共済について</p>	<p>始良市農林業労働者災害共済は、農林作業中の不慮の災害を受けた方を救済し、農林業労働者の生活の安定と福祉の増進に寄与するために設けられた共済であり、発祥の加治木町から新市においても引き継がれているものである。</p> <p>安定した運営がなされているが、見舞金の支給状況等を勘案すれば今後、加入者の確保を図り県内でも唯一となる貴重なこの共済を、さらに充実し持続可能な</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		ものとするべきではないかと考える。今後のありかたと方向性を問う。	
12. 東馬場 弘	<p>1. 台風・豪雨災害・津波の対策について</p> <p>2. 学校給食施設について</p>	<p>(1) 9月、10月は台風15号、19号、20号が中部・関東地方に立て続けに襲来し、低気圧による大雨で千曲川などの氾濫・千葉県での長期停電と大きな被害をもたらした。本市も対岸の火事と見ている場合ではない。最近の降雨は線状降水帯という部分的に集中して、想定外の大雨を降らせるものである。このようなことから土砂災害ハザードマップや津波浸水ハザードマップの見直し、住民への避難等の周知方法も見直しを考えていくべきと思うがどのように考えているか。</p> <p>(2) 今回の台風や風水害による床上浸水などで、家具類の災害ごみの処理が問題化された。本市に同様な事案が起きた場合の対策は十分なのか問う。</p> <p>(3) 加治木地区の仮屋通り線、加音ホール北側、吉原地区は少々の降雨でも冠水が恒常的となっているが排水対策を問う。</p> <p>(1) 始良地区の自校式給食室は調理器具などの更新等を含め維持管理を考慮すれば共同給食室（センター化）への切り替えるべきだが今後のビジョンを問う。</p> <p>(2) 加治木学校給食センターは衛生上ドライ方式への転換が急務だが実施に向けての状況を問う。</p>	<p>市 長</p> <p>教育長</p>